

事務総局会議（第21回）議事録	
日時	平成30年8月2日（木）午前11時00分～午前11時28分
場所	総局会議室
出席者	今崎事務総長，中村総務局長，堀田人事局長，笠井経理局長，平田民事局長兼行政局長，安東刑事局長，村田家庭局長，徳岡秘書課長兼広報課長，佐伯情報政策課長，石井審議官，長崎審議官，染谷司法研修所事務局長，白井裁判所職員総合研修所長，松川経理局主計課長
議事	平成31年度裁判所所管予算について 笠井経理局長説明（資料）
結果	◎ 説明
<div>秘書課長 徳岡 治</div>	

新しい日本のための優先課題推進枠

- 
- 裁量的経費への振替額  $B \times 3$  倍
- 裁量的経費に係る削減額  $A \times 3$  倍
- +
- 裁量的経費への振替額  $(+ B)$
- +
- 裁量的経費に係る削減額  $(\Delta 10\% : \Delta A)$
- 裁量的経費
- 義務的経費に係る削減額  $(\Delta B)$
- 義務的経費
- 度の抜本的見直し
- 14.7兆円
- 12.7兆円

### 義務的經費

12.7兆円

さらに、聖域を設けることなく施策・制度の抜本的見直し

- ※１ 地方交付税交付金等については「新経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ要求。義務的経費については、参议院議員通常選挙に必要な経費の増等については加減算。
- ※２ 「新経済・財政再生計画」で示された「真に必要な財政需要の増加に対応するため、制度改革により恒久的な歳入増を確保する場合、歳出改革の取組に当たって考慮する」との方針を踏まえた対応等については、予算編成過程において検討。

# 平成 3 1 年度予算 概算要求基準

経費分類		平成30年度 当初予算額	前年度同額	(単位：億円) 平成31年度 基準額	
人件費		2,706		2,716	
義務的経費		236		236	
	物件費	236		236	
裁量の経費		270		243	
	物件費	116	10%削減	104	
	施設費	154	10%削減	139	
特殊要因		0.5		0	
合計		3,213		3,195	

# 平成 3 1 年度予算 概算要求額

経費分類		平成31年度 要求額(7月版)	7億円削減	(単位：億円) 平成31年度 基準額	
人件費		2,705		2,716	
義務的経費		243		236	
	物件費	243		236	
裁量の経費		272		243	
	物件費	118		104	
	施設費	154		139	
特殊要因		0		0	
枠貸借増分		未定		0	
合計		3,220	【要望】枠	3,195	